



令和6年2月26日 立川市広報課
送付文書 計1枚

報道機関 各位

立川ゆかりの歴史画家 《後期展のみどころ》
邨田丹陵—時代を描いた やまと絵師—

たましん美術館では、立川ゆかりの歴史画家・邨田丹陵（むらた・たんりょう）の本格的な展覧会を開催しています。

今月24日からの「後期」では、邨田丹陵を砂川村（現在の立川市砂川町）に呼び寄せた砂川家に伝わる幅2メートルを超える大幅《霊峰富嶽図》（砂川家蔵）や中央画壇で褒状を得た《両雄会湖畔図》（砂川家蔵）、菅原道真の気品高く優美な様を表現した《雪月花》（個人蔵）など、丹陵の画業を語る上で欠かせない作品を32点展示します。

また、本展は、世界各国の方にも鑑賞いただくために、会場内の解説や展覧会図録にはすべて英訳を併記しています。英訳付きのギャラリートークも3月9日に開催します。



画像：左）《霊峰富嶽図》 昭和11年、砂川家蔵



画像：中）《雪月花》 明治39年 個人蔵



画像：右）《両雄会湖畔図》部分 明治27年 砂川家蔵

全て後期展示作品

- 展覧会名：邨田丹陵—時代を描いたやまと絵師
- 前期：令和6年1月13日(土)～2月18日(日) ●後期：令和6年2月24日(土)～3月31日(日)
- ギャラリートーク：2月25日(日)、3月9日(土) 全て14時30分～
3月9日は英語対応あり（時間は各30分予定・事前申し込み不要）
- 会場：たましん美術館(立川市緑町3-4) 多摩信用金庫本店1階
- 料金：一般¥500 大学・高校生¥300(税込み) 中学生以下無料 ほか障害者割引あり
- 主催：(公財)たましん地域文化財団、(公財)立川市地域文化振興財団
- 助成：文化庁、(公財)花王芸術・科学財団、(公財)三菱UFJ信託地域文化財団